

平成30年度 福岡大学薬学部同窓会評議員会議事録

【会議日時】

平成30年4月28日（土）14時30分開会 15時30分閉会

【会議場所】

福岡大学薬学部16号館2階1621教室

【会議出席者】

正岡民次、大内士郎、藤原道弘、光安龍彦、須本國弘、井上清勝、中牟田由理子、田川義展、中島幸彦、榑崎幸範、小林正喜、鹿志毛信広、神村英利、松本禎明、野中敏治、三島健一、本田伸一郎、池田浩人、江頭伸昭、松末公彦、松永和久、右田啓介、富永宏治、桂林秀太郎、小迫知弘、木村公彦、中原史、大津友紀、巴山忠、渡辺拓也、佐野和憲、益本英一、富田陵子、相川晃慶、藍原大甫、中野貴文、松尾康平（計37名）

【委任状提出者】

関根敏子、占野廣司、戸田昭洋、松井昌也、小野信文、中尾泰正、吉田徹、山方健司、添田秦司、井上和秀、加留部善晴、伊藤眞知子、藤野哲朗、高田二郎、木本和子、斎藤亮、松尾俊和、大山政則、井口裕詔、丸岡博、三輪宏樹、花園弘志、原千登勢、緒方憲太郎、福澤美佐、小田真稔、原一倫、徳島智子、杉本裕子、林田諭、楠田真理子、糸山美紀、川淵崇弘（計33名）

【平成30年度福岡大学薬学部同窓会評議員会出欠について】

正岡民次会長から、評議員総数108名に対して、出席者37名および委任状提出者3433名で、計70名となり、定足数を満たしたことを受けて、会長より本会議成立の報告がなされた。

【議題】

1. 平成30年度決算について（資料1）

会計担当の松末理事より収支決算と特別会計の報告がなされた。収入の部ならびに支出の部の各項目の説明、特別会計内訳の説明があった。これらの報告に対して、監査担当の鹿志毛理事より、収支決算書ならびに特別会計報告書、同窓会会計収支に間違いがないことが報告された。田川評議員から質慶弔費はどのように使われているかという質問があった。松末理事より、旧教職員などのご葬儀に対して弔電・供花献花を行っているとの説明があった。また桂林評議員より、予備費に関する質問があり、これに対しても松末理事から説明がなされた。これらを受け、本事項はそのまま承認された。

2. 平成30年度予算案について（資料2）

会計担当の松末理事より平成30年度予算案についての説明がなされた。収入の部ならびに例年通りの支出の部の各項目の説明があった。桂林評議員より、毎年予算案に記述されている余剰金額が生じるのかという質問があった。これに対して松末理事から余剰金額は、学生からの同窓会費の集金額

により毎年変わるとの説明がなされた。本議題に関しては質問なく、そのまま承認された。

3. 平成 30 年度福岡大学薬学部同窓会役員について（資料 3）

庶務担当の本田理事より同窓会役員について説明された。まず、本年度からの理事の移動・新任変更に関して、役員の移動・新任さらに、新評議委員について簡単に紹介された。さらに続いて、30 年度 6 年制第 7 回卒の評議員として、長洲颯氏、赤穂健太氏の就任について説明があった。その他の異動として、瀬尾隆理事を副会長として推薦したい旨の説明が正岡同窓会長よりなされた。副会長の定員は 2 名で、現在、光安龍彦理事、松藤康司理事の 2 名が在籍しているが、松藤理事の退職やその他の事情により、同窓会長の業務支援体制を強化することが必要であるとの判断である。また、第 43 回卒の楠田真理子評議員から退職に伴う諸事情により評議員を退任したい旨の申し出があり、新たに同じく 43 回卒の樋川舞氏が評議員として推薦された。これらの事項はそのまま承認された。

4. 同窓会による学生支援について（資料 4）

本田理事より、平成 30 年度の薬学部における模試など、同窓会が関与する行事の説明が行われた。先の 4 月 21 日に行われた白衣授与式、および 10 月 18・19 日に開催される同窓会提供国家試験対策模試などについて、次年度も同窓会より補助金を出すことが了承された。また、今年度の 6 年生は在籍者数が多いために受験教室が複数になることを受け、10 月 18・19 日（メディセシ）の模擬試験に関しては、本年度に限り試験監督補助員のにアルバイト代として、ついても補助金 4 万円を出すことで了承された。

5. 第 103 回薬剤師国家試験結果について（資料 5）

本田理事より、第 103 回薬剤師国家試験の結果についての説明がなされた。新卒合格率の全国平均は 84.87%、既卒者を合わせた総数での全国平均は 70.58 % である。本学の新卒合格率は 91.80 %（第 26 位）、総数での合格率は 83.27 %（第 27 位）であり、平均と比べると高く、前回と同程度であった（102 回新卒合格率は 91.78 %）。

6. 昭和 58 年度卒業生記念樹について（資料 6）

現在薬草園には、昭和 58 年 3 月卒業生による卒業記念樹および記念石碑があるが、その記念樹が枯れてしまっていることが分かった。道に沿った場所に植えられていることもあり、強風などで倒れると、事故につながる恐れもある。このような理由により、枯れてしまった木は抜いてしまう方がよいとの判断が薬草園管理者から報告されたことを受け、その後の処理についての審議が行われた。可能性は、①記念石碑だけを残す ②当該卒業生に事情を伝え、もう一度募金をお願いして植え直す ③同窓会がお金を出して植え直す ④薬草園の維持費の一部から費用を出す ⑤その他、である。この件は、事前に理事会において審議が行われている。大学の薬草園のことなので、同窓会からお金を出すことはせずに、取り除いた後の処理については、①記念石碑だけを残す、あるいは、④薬学部（薬草園維持費を含む）から費用を出して新しい木を植えるといった複数の可能性を考えて、薬学部内で今後決定していくことを了承して欲しいとの申し出がなされた。この事項はそのまま承認された。

7. 同窓会費未納卒業生の同窓会 ID とパスワードの取り扱いについて（資料なし）

近年、同窓会費未納のまま卒業してしまう学生が増えてきたことを受けて、同窓会費未納の卒業生に ID およびパスワードを渡すか否かについて、理事会にて審議された。その結論としては、当面は、会費未納者についても ID・パスワードを付与し、今後さらに未納者が増加してきた場合には、再び理事会で審議するという事となった。この決定に関して、評議委員会での審議を行った。藤原評議員より学会会費などの例を参考にして、数年支払いがなされなければ同窓会から退会処理してはどうかとの意見もでたが、評議委員会では理事会での決定を尊重し、会費未納者についても ID・パスワードを付与することとなった。また、会費未納者については、次回の福岡大学薬学部名簿作成の際に、会費納金のお願いを同封してはどうかとの意見が出た。

8. 福岡大学薬学部同窓会名簿発刊について（小野印刷作成資料）

5年に一度の大規模名簿データ整理、名簿発刊等の提案が、名簿担当の池田理事よりなされた。説明は、小野高速印刷が作成した資料を用いて行われた。前回と同様に郵送調査に加え、電話調査および名簿発刊（販売）等の費用を検討した結果、新たに名簿を発刊することが承認された。今後は名簿担当の池田理事を中心に、計画が進められることとなる。